

出題分析		
試験時間 90 分	配点 100 点	大問数 2 題
分量（昨年比較）〔減少 <input type="checkbox"/> 同程度 <input checked="" type="checkbox"/> 増加〕	難易度変化（昨年比較）〔易化 <input type="checkbox"/> 同程度 <input checked="" type="checkbox"/> 難化〕	
<p>【概評】</p> <p>例年，大問 2 題の構成である。論述問題が大半であるが，今年は選択問題と短答記述問題も見られた。論述問題は 5～7 問程度である。論述の総字数は昨年，今年ともに 900 字程度であり，今年は 50 字程度の比較的短い論述問題も出題されたほか，指定語句が与えられている論述問題も見られた。図版類では，昨年は地図とグラフ，今年は統計表，グラフ，地図が用いられている。なお，昨年は 2 題とも系統地理分野からの出題であったが，今年は 2 題とも地誌分野からの出題であった。</p>		

設問別講評			
問題	出題分野・テーマ	設問内容・解答のポイント	難易度
(I)	西アジアの地誌	<p>問 1. (b)イラクでは外来河川，サウジアラビアでは砂漠が広がるゆえの水源の乏しさとセンターピボット，イランではカナートを指摘する。自然や経済などの地理的条件と，灌漑の具体的方法にも言及する。</p> <p>問 2. 指定語句が与えられている点に注意。「社会増」と対比させるため，「人口転換」における多産少死の自然増を指摘し，前者をカタール，後者をイエメンに結び付ける。</p> <p>問 3. (a) 表 2 の 2024 年の Y 海峡の値が小さいのは，5 月までの値である点に注意する。それでも 2023 年よりは減少していることがわかるだろう。ホルムズ海峡を通過する船舶の多くはペルシア湾岸から出発した原油を積んだタンカー，マンダブ海峡を通過する船舶の多くはスエズ運河を経由するが，タンカーの割合はホルムズ海峡より低いことを考える。(b) アメリカ合衆国のシェール革命について指摘する。</p>	標準

設問別講評			
(Ⅱ)	ライン川流域の地誌	<p>問 1. 地形の指摘は、アルプス山脈のみでは不十分で、その成因にも言及する。</p> <p>問 2. 国際河川は、複数国を流れ、条約により航行の自由が認められている。ライン川、ナイル川、メコン川などを想起し、社会経済に与えるメリットやデメリットを考察する。</p> <p>問 3. ブルーバナナの範囲は、地域の連続性がわかるようにいくつかの地域を挙げる。ブルーバナナとこれに含まれるルール工業地帯の産業については、産業構造の転換を軸に具体的な産業に言及する。</p>	標準

合格のための学習法

設問の多くは、教科書で学習する基本事項や、それをもとにした思考力を問う問題であるが、教科書をじっくりと読み込んでおくことは当然として、資料集や参考書、地図帳なども活用して、グラフや図、表などを読み取る訓練をしておかないと、論述に苦勞する設問も見受けられる。統計資料を見る習慣をつけることも大切である。また、50字、100字、150字、200字程度で論述する練習も欠かせない。そのためには、大阪大学の過去問や、字数や傾向が類似する他大学の過去問を解き、添削してもらおうと心強い。